

石狩市下水道事業経営戦略（改訂）概要版 （R6.8）

Ⅰ．改訂の目的

石狩市では、定期的な使用料改定を実施するほか、より効率的・効果的かつ安定的な汚水処理の実施や施設の維持管理に取り組み、将来にわたり持続する下水道事業とすることを目標とする『石狩市下水道事業経営戦略』（以下「経営戦略」という。）を令和２年１０月に策定しています。

経営戦略は、社会情勢や経営環境の変化に合わせて概ね４年を一区切りとして見直す必要があるため、改訂を実施します。

計画期間は、令和７（２０２５）年度から令和１６（２０３４）年度までの１０年間とします。

Ⅱ．現状と課題

ア 人口の減少

- ・人口は減少傾向であり、有収水量と下水道使用料も減少傾向の見通し。
- ・使用料収入は令和５年度の６．２億円から、令和１６年度には５．８億円（△約６％）に減少する見通し。

イ 下水道普及率と下水道水洗化率

- ・令和５年度の下水道普及率は９４．６％、下水道水洗化率は９９．７％となっており、汚水管の整備はほぼ完了しているため、今後水洗化人口が大幅に増加する見込みはありません。

ウ 下水道使用料収入の推移

- ・下水道使用料収入は、年々減少しています。
- ・４年毎の使用料及び使用料対象経費の状況から使用料を改定します。

エ 施設の状況

- ・管路は法定耐用年数を超過したものが年々増加する見通し。
- ・ポンプ場・処理場の電気設備は、改築・更新時期を迎えています。
- ・計画期間内ではストックマネジメント計画を策定して、効率的な改築・更新が必要です。

Ⅲ．経営の基本方針

Ⅰ．快適な環境を守る

施策１：効果的な汚水処理の推進～水洗化の促進、合併処理浄化槽の整備の継続

施策２：公共用水域の水質保全～水質改善に向けた協議

Ⅱ．安全な暮らしを支える

施策３：地震対策の検討～耐震診断、設計、施工

施策４：雨水の整備～花川南地区雨水整備

施策５：施設の効率的な改築・更新～施設改築の計画・設計・施工、不明水対策

Ⅲ．安定した経営を目指す

施策６：支出の抑制～民間委託・維持管理の効率化、汚水処理変更に関わる協議

施策７：収入の確保～使用料見直し、有収率・収納率の向上、特環・個排の支援

施策８：広域化・共同化の継続

Ⅳ．財政収支計画の見直し

（１）投資

- ・経営方針に沿って、老朽化対策への投資は、計画的に実施する。
- ・施設全体の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図るとともに、投資額を可能な限り平準化することで安定した財政運営を継続する。

（２）財源

- ・経営方針に沿って、適正な使用料に改定することで財源確保を図る。
- ・特定環境保全公共下水道事業と個別排水処理施設整備事業については、事業環境や事業特性等を考慮し、一定額を繰り入れることにより、経営を維持する。